

工学研究科【学位授与の方針】

工学研究科は、定められた課程を修め、以下の学習成果を挙げた者に対して学位を授与する。

<学修成果(教育目標)>

〔修士課程〕

1. 工学全般にわたる広く深い学識を有し、現代の産業社会が直面する工学上の諸問題を学術的かつ多面的に分析し、自らその解決策を立案する力を身につけていること。
2. 学会発表や共同研究などの経験を通して、対外的なコミュニケーションやプレゼンテーションを適切かつ積極的に行える能力を身につけていること。
3. 技術者・研究者として高い倫理観を持ち、職業人としての立場を強く意識した言動が取れること。

機械システム工学専攻

1. 数理的な思考力を身につけていること。
2. 機械システムを総合的に理解し、機械工学の専門知識を身につけていること。
3. グローバルな視点から物事を考える能力を身につけていること。
4. 新技術に関して興味を持ち、先端技術を幅広く理解するために、基盤的専門知識を身につけていること。

電気電子工学専攻

1. 数理的かつ綿密な思考力を有し、電気電子工学の専門知識を基盤とし、幅広く応用できる能力を身につけていること。
2. 共通基盤的専門知識を身につけて、かつ、異なる専門領域に強みを持っていること。
3. 自己表現や対人関係力に優れた能力を身につけていること。

情報工学専攻

1. 数理的な思考力を身につけていること。
2. コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの専門知識を身につけていること。
3. メディアの処理、データの処理の専門知識を身につけていること。
4. システムの設計構築、運用管理のできる能力を身につけていること。
5. システムを基盤としてコンテンツ開発や配信等の幅広い分野にわたり対応できる柔軟性を身につけていること。

〔博士後期課程〕

工学専攻

1. (十分な学識・自立性・課題発見力) 自身の専門領域について十分な学識を有し、自立した研究者として、その領域における新規の課題を自ら発見する能力を身に付けていること。
2. (課題解決力・外部発信力) 自身の専門領域が直面する様々な課題に学術的な見地から多面的に取り組み、社会的要請を踏まえて解決する方法を考察し、先進的かつ具体的な方策を講じる能力を有していること。また、その成果を適切な形で外部に発信する能力を身に付けていること。
3. (社会貢献・使命感) 自身の専門領域の知識及び技術を展開し、研究者及び高度専門技術者として、社会、特に産業社会の先頭に立って貢献し、持続可能で安心・安全な社会の実現を目指す使命感を有していること。
4. (職業人意識・学際的視野・倫理観) 研究者もしくは職業人としての自覚を持ち、自身の専門領域だけでなく、境界領域や学際領域の課題にも柔軟に対処できる広範な視点を有し、高い倫理観に基づいて行動する能力を身に付けていること。